

**孔子**（名は丘。「孔子」は孔先生の意味）

・孔子は、中国の魯国で、紀元（キリスト誕生の年）前五五二年に生まれたと記されています。

・幼くして父、やがて母が亡くなったために、貧窮の中で家計を支えながら独学で学問に励み、三十代には深い学識の持ち主だという評判が立って弟子入りする人が増えました。「少くして賤し。故に鄙事（つまらない仕事）に多能なり。」「吾れ十有五にして学に志す。三十にして立つ。」とは、そのころを振り返って語ったものです。

・五十代には魯国の司法長官に就任しましたが、既得権益を守ろうとする貴族に邪魔されて失脚し、弟子たちを連れて魯国を離れ、自分の政治理想を理解してくれる君主を求めて諸国を巡る旅に出ますが、乱世のさなか孔子を受け入れてくれる君主はいませんでした。十四年にわたる旅の末に帰国し、七十三歳で生涯を閉じました。

### 論語の基礎知識

・『論語』は、主に孔子が語った言葉や、弟子との問答を弟子たちが集めてまとめたものです。孔子の死後百年ほど後に編纂が始まり、およそ四〇〇年を経て現在ののような形態になったと言われています。

・『論語』は、全体が二〇篇の構成で、五〇〇あまりの章句が収録されています。各篇には最初の文章の冒頭の二文字から名前が付けられています（学而篇など）が、テーマごとのまとまりがあるわけではありません。

・長い年月に洗われた『論語』の数々の文章は、仁・礼・信・義・智・忠・孝・悌などの言葉について語られ、日本人の「学ぶ心や礼節を重んじる態度」の基盤、現代人の在り方生き方の鑑となっていると言われます。

## 〇〇〇立〇〇〇〇中学校 講堂学習資料

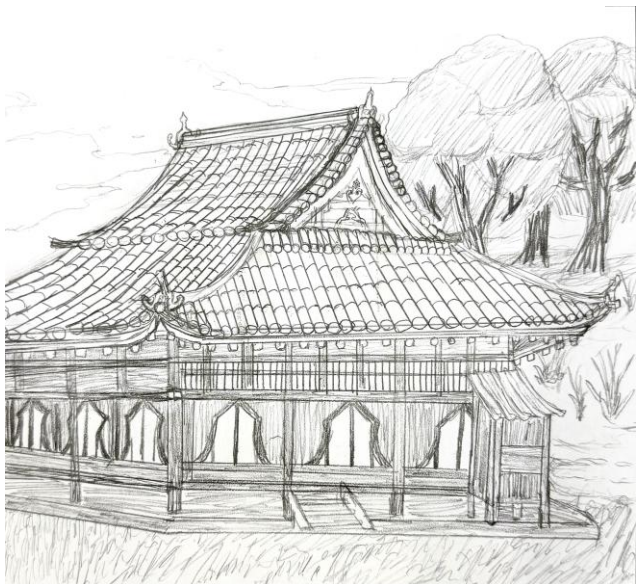
令和8年 月 日（ ） 於 旧閑谷学校・講堂



### 今日のテーマ 充実した中学校生活を送るには

#### ～校訓や学年目標〇〇〇〇〇〇の実現をめざして～

- ①どんな学び方をすればいいでしょうか？
- ②良好な人間関係を作るには何が大切でしょうか？
- ③自分を励ます言葉（座右の銘）を持っていますか？



令和7年度備前市立吉永中学校1年 横山聡さん

学び方

(1) 子曰く、のたまわ「学んで思わざれば則ち罔し。すなわ 思うて学ばざれば則ち殆し。」あやう  
(為政第二・十五)いせい

(2) 子曰く、のたまわ「之れを知る者は之れを好む者に如かず。之れを好む者は之れを楽しむ者に如かず。」こ  
(雍也第六・二〇)ようや

生き方

(3) 子曰く、のたまわ「君子は諸を己に求め、小人は諸を人に求む。」これ おのれ  
(衛霊公第十五・二二)えいれいこう

(4) 子曰く、のたまわ「人の己を知らざるを患えず。人を知らざるを患うなり。」おのれ  
(学而第一・一六)がくじ

(5) 子貢 問いて曰く、しこう「一言にして以て終身之れを行うべき者有りや。」子曰く、ものあ「其れ恕か。のたまわ 己の欲せざる所を人に

施すこと勿れ。」ほどこ  
なか

(衛霊公第十五・二四)  
えいれいこう

(1)人から学んでも自分で考えなければ、混乱するばかりで身につかない。いくら考えることが大切であるといっても、学ぶことをしなければ、独断におちいって十分な学力は身につかないものである。

(2)それを知っているというだけの者よりもそれを愛好する者にはかなわない。それを愛好する者はそれを真に楽しむ者になわれない。

(3)君子は何かを実現しようとする時、まずは自分の力でできることをしようとするが、小人は最初から他人の力をあてにするし、何かで失敗した時も、君子はまずわが身を顧みて反省するが、小人は他人のせいにする。

(4)自分が人から認められないことは気にせず、自分が人を認めないことを気にしなさい。

(5)弟子の子貢が「人間として、一生涯行っていくのにふさわしいことを一言で言うとは何でしょうか。」と尋ねると、孔先生は、次のように答えられた。「それは恕(思いやりの言動)であろう。自分がしてほしくないことを、他人にしてはいけない。」と。人に対して「思いやり」をもつことが一番大切だということである。言い換えると、自分がしてほしいと思うことを、他の人にしていくことが大切であるということである。